陳情第1号

文化資産の保存と展示の推進を求める陳情

(陳情要旨)

恵庭市内に於いては明治に和人の入植が始まり、農地や住宅地、道路や公共施設等が開発され整備されるに伴い、埋蔵文化財等の調査に抛り、石器時代から始まり、縄文時代の早期より晩期にかけ、又、アイヌ文化期となり今日に到る何万年かの間に絶間無く、人々が住み生活して来たことが明らかになっております。中でも、カリンバ遺跡は国の重要文化財、国の史跡であり、最近では西島松5遺跡が国の重要文化財に指定されました。併せてアイヌ文化期の道内で最大級のコタン（住居や集落）等も発見されております。加えて擦文時代の鉄器は道内では一番多く、ウルシ塗り装身具等については道内の半数以上が出土しておりますがどちらも湿度管理が重要なものです。

しかし乍、これ等の情報の保存と展示、発信、資料等を保管する機能、小中高生や市民、歴史文化ファン等に対して学びの場を提供すべき郷土資料館（1990年11月8日開館）は既に手狭となり、保管の場所も離れており、特別展示等も小部屋を利用して開催されているのが現状です。

(陳情事項)

適正な展示のために空間を拡げ、保存等の機能を高めるため、文化資産の保存と展示の推進を願い出るものです。

令和7年6月9日

恵庭市議会

議長 川原光男様

陳情者 21世紀恵庭新ふるさと創りの会
会長 永山伸治
住所 恵庭市大町3-3-6